

2023-2025 年度 JICA 海外協力隊選考健康判定業務

(意見招請公示日：2022年8月10日) について、意見招請実施要項に関する意見・質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	意見・質問	回答
1	P. 5	2. 業務委託の内容 2-1. 健康判定の位置づけと目的	健康管理の段階が5段階示されていますが、段階ごと判定するのか？判定する内容も段階ごとで項目が違うのか？	募集・選考時の健康判定の段階のみ、本件受託業者が担当します。「訓練入所前健康診断」以降は、JICAの健康管理室にて担当します。
2	P. 5	2. 業務委託の内容 2-1. 健康判定の位置づけと目的	長期春募集 健康判定期間とは、6月～9月末までという認識で間違いはないか？また、この健康判定期間内に健康管理の段階（5回分）のチェックが必要になるのか？	本件受託者は募集・選考期間中(1段階目)のみの業務となります。なお、春募集期の可否通知は10月中旬を想定していますが、一部受験者に関して10月中も判定を行うケースがあります。
3	P. 6	第2.1.2-3. (1)	問診票は、データでいただけるのか？	問診表は現在、手書きのみの対応です。 https://newsreader.jica.go.jp/news/kenkoshindanshoshiki_2022.pdf なお、利便性や作業効率の観点から踏まえ、将来的にはオンラインによる問診内容の申告についても検討したいと考えております。(オンライン問診の導入は別途、費用や開発方法を含めて検討する必要があり、本調達においては想定していないという前提でお考え下さい)
4	P. 6	第2.1.2-3. (1)	対象者の基本情報はリストでいただけると思うが、データでいただけるか？	対象者の基本情報(氏名、性別、生年月日、住所、連絡先、メールアドレス)は、AOL上で確認が可能ですが、CSVにダウンロードも可能です。健康判定結果の入力は、AOL上に直接インプットいただくことを想定しています。
5	P. 6	第2.1.2-3. (2)	判定基準に関する具体的な数値での基準などを教えてもらえるのか？ (入札公告時に配布となっている資料に含まれれば大丈夫です。)	健康判定基準(数値などの基準値を記載した資料)は、入札公告後、秘密保持誓約書を提出いただいた入札希望者に配布する予定です。(一般公開不可)
6	P. 6	第2.1.2-3. (2)	判定を確定できない場合に、JICA所属の医師に相談することはできるのか？	基本的に、本件を委託する受託業者において判定いただきますが、判定が困難なケースにおいてはJICA顧問医の助言を受けることが可能です。
7	P. 6	第2.1.2-3. (2) (参考1)	判定中止とはどのような内容でしょうか？	健康判定と並行してJICA側にて行なう「一次選考(書類審査)」にて「一次選考不合格」対象者が判明したタイミングで、または受験者側から辞退が出たタイミングで、これらの対象者に関しては「(健康)判定中止」の連絡を本件受託者に対して行なうこととなります。
8	P. 6	2-3. 業務の詳細 (1)	応募者が提出する書類は、問診票、健康診断書、この2つがベースで、必要に応じて追加の診断書や質問票がついている場合があるという認識で間違いはないか？	ご理解の通りです。 応募者は、問診表、健康診断書、領収書貼り付け台紙の3点を応募時にJICAへ郵送し、問診票及び健康診断書をJICAから受託者へ纏めてお届けします。(タクシーによる輸送を想定) 本件受託者は、これらの書類を健康判定基準に照らして判定(A~D)を行います。判定にあたって情報が不足している場合には、再検査指示や質問票への回答を受験者に対して指示することになります。 https://newsreader.jica.go.jp/news/kenkoshindanshoshiki_2022.pdf
9	P. 6	2-3. 業務の詳細 (1)	提出物の健康診断書は、英語表記なのか？	日本語表記です。
10	P. 6	2-3 業務の詳細 (1)	協力分野ごとに、求められる健康レベルは異なると思いますが、選考の段階では、分野ごとにわけず一律の数値基準で判定するのでしょうか？	協力分野を勘案した健康判定は行っておりません。一律の数値基準となります。

11	P. 6	2-3 業務の詳細 (1)	「記載事項について詳細確認が必要な場合には、メールまたは電話等により直接、提出者に確認する。」とありますが、過去の実績として、確認したケースは全体の何%くらいあるのでしょうか。	正確には把握しておりませんが、全体の5割程度の受験者に対して、問診票記載内容に関する質問や再検査指示などの連絡をメール等で行っていると考えられます。
12	P. 6	2-3. 業務の詳細 (2)	別送資料1の「JICA ボランティア事業選考過程における健康判定基準」はどれになるのか？またその存在が確認できなかった為、見積りは(表1)選考時における健康判定基準にあるような健診センターから出た総合判定A~Fで判定する工数で見積算出しています	別送資料1「JICA ボランティア事業選考過程における健康判定基準」は、入札公告後、秘密保持誓約書を提出いただいた入札希望者に配布する予定です。(一般公開不可) <通番5と同じ> 参考見積では、上記の別送資料1の基準表を反映した形での算出が出来ないという前提で問題ございません。実際の入札においては、上記基準表(非公開のため、関心社にのみ手交)に基づき判定いただくことを想定した金額としていただくようお願いします。
13	p. 8	AOL、次期採用管理ツール	1受託者に電子証明などのプログラムをインストールする必要があるか。 2発注者が予め受験者の番号、氏名などが入力しており、受託者は判定結果、所見のみの入力でいいのか。それとも全ての情報を受託者が入力するのか。入力ミスを無くすために予め個人情報が入力されていることが望ましい。	1)健康判定結果を入力いただく予定のAOLは、ブラウザでご利用可能であり、アプリのインストールは必要ありません。 2)健康診断書類の受領、開封、氏名とIDの入力はJICA側で事前に行った上で、健康診断書類を送付します。健康判定業務受託者が入力する受験者の個人情報、健康判定に関する情報は、健康判定に関する情報です。その他の個人情報(性別、生年月日など)はJICA側(または選考業務受託業者である株式会社マイナビの選考事務局)でAOL上に入力を行います。
14	P. 8	2-3. 業務の詳細 (4)	健康診断結果判定の納品状態はどのような状態をいうのか？	判定の結果として、健康判定結果A~D、任国条件や定期報告に関する所見などが全てAOLに入力完了した状態を指します。また、全ての受験者の判定を終えた時点で、健康診断書類一式を郵送にて、JICAへ返却(再検査指示後の追加診断書など、受験者より追加で取り付けた書類を含む)いただきます。なお、受託者には、AOL操作マニュアルを展開します。
15	P. 8	2-3. 業務の詳細(4)	判定結果データの入力形式は、2023年度と2024年度では違うのか？	2024年度以降も入力形式が変わることは基本的にありませんが、本件受託者のご要望や業務上の利便性向上の観点で、入力画面の改善を行うことがあります。
16	P. 9	2-3 業務の詳細 (4)	2019年~2023年まで選考事務委託先が使用しているAOLは、必要に応じて2023年以降も継続して使用する予定でしょうか。委託先が変われば、管理ツールから見直すのでしょうか。	2023年度はも、AOLを情報管理ツールとして利用します。2024年以降、委託先が代わり、管理ツールが変更になる可能性はあります。
17	P. 9	3 委託業務の実施場所の確保	健診結果等の資料の保管は、都度、応募から合否判定までの分でしょうか。合格者の情報は人事部健康管理室(P.5より)に引き継がれるようですが、不合格者または判定中止の場合は一定期間保管する必要がありますか。	ご理解のとおり、最終合否判定後は、合格者の健康診断書等判定書類一式を、人事部健康管理室が引き取ります。また、不合格者や選考期間中の辞退者(=判定中止者)の書類も、選考終了後はJICAが引き取りますので、受託者側で保管する必要はございません。
18	p. 10	四半期業務完了報告書 最終業務完了報告書	1フォーマットはどのようなものか。 2手書きかデータどちらか。	1本件で特別に指定のフォーマットや内容はございません。報告書の表紙等は以下サイトを参照ください。 https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/domestic/op_tend_evaluation.html 2報告書については、一部手書きも可能ですが、極力電子媒体にてお願いをしております。
19	P. 11	6. 契約の形態及び支払い (2)	(ア)求められる役割: JICA の定める健康判定基準に基づき、受験者の健康判定を行う。 ⇒この判定基準をご教示ください	通番5及び12をご参照ください。
20	P. 11	6. 契約の形態及び支払い (2)	(ア)求められる役割: 問診票、健康診断書の記載不備に関する受験者照会、判定結果のデータ入力、JICA への報告・連絡等。 ⇒AOL (Access On Line) へ入力が良いのか？	問診票、健康診断書の記載不備に関する受験者照会は、メール連絡が基本ですが、内容によっては電話による受験者との連絡が発生することもあります。受験者との連絡手段については基本的に受託者にお任せしています。またご理解のとおり、判定結果のデータ入力はAOL上での報告となりますが、進捗状況の報告や判断にまようケースの問い合わせ対応など、JICAとの連絡・調整も選考期間中は頻繁に生じます。JICAとの連絡は基本的にメールを利用しますが、目的に応じて電話連絡やTeams・ZOOMIによるオンラインMTGを行う場合があります。
21	P. 21	選考実績	シニアの年齢構成はどのような傾向でしょうか。(年齢が高くなれば、確認する病歴も多くなります。)また、確認する健康情報は、20歳~69歳まで同じものでしょうか。一定の年齢以上には項目の追加など検討されていますか。	判定項目は年齢によって変わりません。受験者の年齢構成については、2022春の実績では、20歳代が48%、30歳代が18%、40歳代が10%、50歳代が9%、60歳代が15%です。